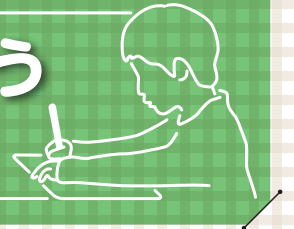


秋

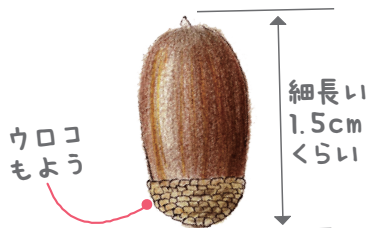
絵日記でいざなう 世田谷のみどり



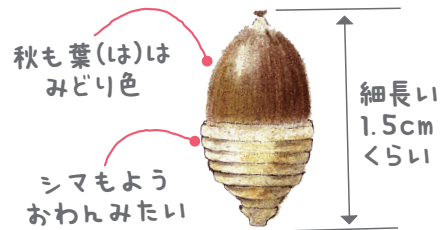
どんぐりコロコロ、どこから落ちてきたんだろう。
街のあちこちにかくれた小さな秋、いくつ見つけれられるかな。



クヌギ



コナラ



シラカシ

おとずれた場所と出会った生きもの

緑道や 道ばた

植物… アベリア、ガマズミ、コムラサキ、桜、シャリンバイ、ナワシログミ、ヒナタイノコツチ、ビワ、ムラサキオオツクサ、ミズヒキ、ムクノキ、ヤブラン、ヨウシュヤマゴボウ
動物… アブラゼミ、カネタタキ、ケアリのなかま、コガタズメバチ、ナミテントウ、ハラオカメコオロギ、ピロウドコガネ、ホシホウジャク、ホソヒラタアブ、メスジロハエトリ

公園や 緑地

植物… クヌギ、コナラ、ツルボ、ヒガンバナ
動物… アキアカネ、イチモンジセセリ、オオカマキリ、オンブバッタ、カンタン、キタテハ、キムネクマバチ、クビキリギス、ショウリョウバッタ、ジョロウグモ、シロオビノメイガ、セスジツユムシ、ツマグロヒョウモン、ナミアゲハ、ナミルモンハナバチ、ハイイロチョッキリ、ハラビロカマキリ、ヒメアカタテハ、ヨモギハムシ、ルリタテハ

河川や 水辺

植物… エノキ、クス
動物… ウラナミシジミ、エンマコオロギ、オオカマキリ、オオミノガ、オカメコオロギ、ゴマダラチョウ、シバズ、ショウリョウバッタ、ツクツクボウシ、ツチイナゴ、ツユムシ、トノサマバッタ、ヒシバッタ、ヒメジャノメ、マダラスズ、モズ



学校の校庭や近くの公園。毎日見ているのに、「春、夏、秋、冬」と様子が変わっていきます。どのように変わっていくのでしょうか。不思議な季節の変化に目を向け、その豊かさを感じてほしい。そんな思いでこの資料を作りました。いつもの暮らしの中で、ふっ…と感じる自然。それはあなただけの「発見」かもしれません。ぜひ探してみてください。

秋

緑道、道ばたなど

講師：今田裕美子



緑道の桜の木

緑道のサクラの木は、少し黄色い葉(は)がまじり、葉の一部は落ちていました。



おちば

別のサクラの幹(みき)では、ケアリのなかまが蟻道(ぎどう)を作っていました。



ケアリのなかま



幹(みき)の上の蟻道(ぎどう)

ほかの木を、観察(かんさつ)してみました。

ガマズミやコムラサキが実をつけていました。シャリンバイの実はまだみどりでした。ホシホウジャクが長い口をのぼして、やすむことなくはばたきながら、アベリアの花の蜜(みつ)を吸っていました。6月に実をつけていたビワの木は、冬にさかせる花のじゅんびをしていました。



ガマズミの実



コムラサキの実



ナワシログミの花

ながーい口!
とまってくれないので
さつえいがむずかしい!



アベリアにホシホウジャク

ドロだらけの
ビロウドコガネ。
なにがあったのかな?



ビロウドコガネ



ナミテントウ(紅型)



シャリンバイの実



アブラゼミのぬけがら



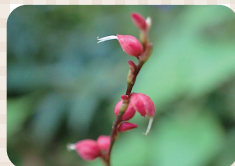
ビワの花芽(はなめ)

草や、地面(じめん)のちかくでは、

ムラサキオオツクサの花に、ホソヒラタアブなどのいろいろなハナアブがきていました。あちこちでコオロギやカナタタキがなっていました。ヒナタイノコヅチがひつつき虫と言われる実をつけていました。



ムラサキオオツクサと
ホソヒラタアブ



ミズヒキの花



ヨウシュヤマゴボウの実



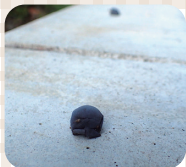
ヤブランの花と実



メスジロハエトリみ



よわった
コガタ
スズメバチ



ムクノキの実



ハラオカメコオロギ



ヒナタイノコヅチの実



実 拡大

とげのような
部分で服などに
くっつきます

秋

公園・緑地

講師：山崎裕志

秋の公園や緑地では成虫になったバッタやカマキリ、花壇に集まるチョウやハチなどを見ることができます。



クヌギの実

クヌギの木

クヌギの葉も少しずつ色付いてきました。葉の間を見ると立派なドングリが出来ています。

よく見るとどれも傘(かさ)に小さな傷がついています。



コナラの樹の下に葉のついたドングリがいくつも落ちています。



これはハイロチョッキリが産卵した跡(あと)です。

ハラビロカマキリ



林の縁(ふち) (林縁 りんえん)を観察しよう!

林の縁ではオオカマキリやハラビロカマキリ、バッタ、チョウなど色々な昆虫と出会えます。虫探しに夢中になってクモの巣にかからないようにね!



オオカマキリ



クビキリギス



セスジツユムシ



ルリタテハ



アキアカネ



ジョロウグモ



ショウリヨウバッタ

草地を観察しよう!

草地を歩いていると足元から大きくなったショウリヨウバッタが飛び出しおどろかされます。また、秋の気配を感じるようになると草地にツルボやヒガンバナの花が開花し、その蜜は虫たちのごちそうになります。



ツルボ



シロオビノメイガ



ヒガンバナ

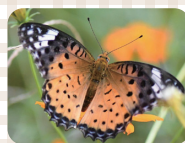


ナミアゲハ



花壇は虫の宝庫!

花が咲き誇る花壇ではチョウやハチなど、いろいろな昆虫が蜜を吸いに訪れます。運が良ければ青いハチ(ブルービー)に会えるかも!



ツマグロヒョウモン♀



ツマグロヒョウモン♂



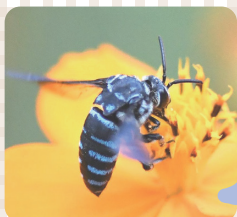
キタテハ



ヒメアカタテハ



イチモンジセセリ



ナミルリモンハナバチ

青いハチに会えるかも!



キムネクマバチ



オンブバッタ



カンタン



ヨモギハムシ

秋

河川や水辺

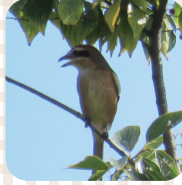
講師:伊藤晴康

～ある日「わたしの木」のまわりで出会った生きものたちを紹介(しょうかい)します～



多摩川の河原にある「わたしの木」
エノキとその周りの草原の秋を紹介します。

木を眺めてみると



エノキの高いところから、キッキッキツ!と鋭い鳴き声が聞こえます。モズです。これから冬を越すための縄張りを宣言する高鳴きをしています。

モズ



エノキの真ん中あたりに、ゴマダラチョウが休んでいました。ゴマダラチョウの幼虫は、エノキを食べて育ちます。幼虫はエノキの根元で冬越しします。

ゴマダラチョウ

木の内側に入ってみると

木の内側に入ってみました。小さなミノムシがいました。来年の夏には大きくなるのでしょうか。ツクツクボウシが鳴いていました。9月23日。今年最後の鳴き声になりそうです。



オオミノガ



ツクツクボウシ

枝にオオカマキリの雌がいました。お腹は卵ではちきれそうです。こんなところにも来ているんですね。



オオカマキリ

近づいて見てみると

エノキには実がついていました。夏青かった実は、オレンジや赤、黒い色になっていました。



エノキの実

黒い実は、水分は少ないですが、ちょっと甘い味がします。

周りの草原を見てみると

秋の草原はとてにぎやかです。ショウリヨウバッタもツユムシも大きくなりました。



クズの花



ショウリヨウバッタ



ツユムシ

秋の花も見られます。ツチイナゴは、草原で冬を過ごします。ウラナミシジミは、秋になって西からやってくるチョウです。

木の下を見てみると

木の下は、コオロギの仲間がいました。コロコロコロと鳴くエンマコオロギの音が、木の下にひびいていました。ヒシバッタはエノキの木の色にそっくりです。ヒメジャノメは、鳥におそわれたのでしょうか、羽の後ろがチギれていました。



エンマコオロギ



オカメコオロギ



マダラスズ



ヒシバッタ



シバスズ



ヒメジャノメ

モズやコオロギの鳴き声、足元から飛び出すトノサマバッタなど、秋のエノキの周りとはとてにぎやかです。